

## メキシコ政治情勢（11月）

### 〔概要〕

#### 【内政】

- 3日、エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。ロペス・オブラドール大統領の支持率は60%で前月比1%減。
- 3日、ロソヤ元石油公社（PEMEX）総裁に対する予防拘束令が発出。
- 8日、大蔵公債省金融インテリジェンス・ユニット長官が交代。
- 22日、「ロ」大統領、連邦政府へインフラ事業への許認可付与の迅速化を指示。
- 23日、「ロ」大統領、中銀総裁人事の変更を発表。次期総裁に大蔵公債省歳出担当次官を指名。
- 26日、エル・ユニベルサル紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。「ロ」大統領の支持率は68%で前回（8月）比6%増。

#### 【外交】

- 4日、気候変動に係る「ロ」大統領発バイデン米大統領宛書簡が公開。
- 8日、墨米陸路国境における不要不急の移動制限措置が解除。
- 9日、「ロ」大統領が米国ニューヨークを訪問。国連安保理会合に議長として出席。
- 9日、墨EU政策協議が開催。
- 10日、新型コロナウイルス感染症対策等に係る有志国会合が開催（オンライン）。
- 12日、COP26（10月31日よりグラスゴーで開催）が閉会。
- 12日、クルティエル経済相がAPEC首脳会議に出席（オンライン）。
- 16日、メキシコ市で墨加外相会談が開催。
- 18日、「ロ」大統領が米国ワシントンDCを訪問。北米首脳会合に出席。
- 22日、エブラル外相が米国ニューヨークを訪問。国連安保理公開討論を主催。
- 29日、「エ」外相、ナレ・エネルギー相他がサウジアラビア外相と会談。
- 30日、墨連邦政府、地方政府及び米企業が墨南部における投資計画等につき協議。

#### 【内政】

##### 1 大統領支持率等に係る世論調査結果

3日、エル・フィナンシエロ紙が、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。「ロ」大統領の支持率は60%で前月比1%減。不支持率は38%で前月比3%増。また、4日付同紙がエネルギー関連憲法改正案等に係る世論調査結果を発表。同案への賛成意見は51%、反対意見は31%。

（いずれも10月15～16日及び29～31日に全国の有権者1,002名を対象に電話調査形式で実施。誤差±3.1%。※を付けた質問は、29～31日に500名を対象に

実施。)

(1) 「ロ」大統領の取組を支持するか。

ア 支持する：60% (前回 (9月、以下同じ) 61%)

イ 支持しない：38% (前回35%)

(2) 「ロ」大統領によるメキシコ国立自治大学 (UNAM) 批判を耳にしたか。※

ア 全体

・はい：36%

・いいえ：64%

イ UNAM在学学生・卒業者

・はい：51%

・いいえ：49%

(3) 以下の事項に同意するか。※

ア 全体

・UNAMは右傾化し、保守勢力となった：

同意33%、反対46%、分からない21%

・UNAMは個人主義かつ新自由主義的取組の擁護者となった：

同意32%、反対48%、分からない20%

・UNAMは本質を喪失し、国民に資する専門家を育成しなくなった：

同意26%、反対59%、分からない15%

イ UNAM在学学生・卒業者

・UNAMは右傾化し、保守勢力となった：

同意33%、反対53%、分からない14%

・UNAMは個人主義かつ新自由主義的取組の擁護者となった：

同意30%、反対57%、分からない13%

・UNAMは本質を喪失し、国民に資する専門家を育成しなくなった：

同意21%、反対66%、分からない13%

(4) 各分野における「ロ」大統領政権の取組を如何に評価するか。

ア ワクチン接種

・とても良い、又は良い：69% (前回 (8月、以下同じ) 66%)

・とても悪い、又は悪い：22% (前回23%)

イ 保健分野

・とても良い、又は良い：48% (前回53%)

・とても悪い、又は悪い：37% (前回32%)

ウ 経済分野

・とても良い、又は良い：44% (前回38%)

・とても悪い、又は悪い：43% (前回45%)

## エ 治安分野

・とても良い、又は良い：34%（前回31%）

・とても悪い、又は悪い：55%（前回54%）

(5) 本日が大統領信任投票日であった場合、如何に投票するか。

ア 信任票を投じる：59%（前回（9月、以下同じ）60%）

イ 不信任票を投じる：38%（前回36%）

(6) 「ロ」大統領が信頼を失うことにより罷免されることを支持するか、任期が終了するまで大統領職を継続することを支持するか（注：連邦上院で承認された信任投票の質問文と同様の内容。）

ア 継続すべき：69%（前回66%）

イ 罷免されるべき：30%（前回31%）

(7) 大統領罷免投票に関心があるか。

ア 大変関心がある、又はある程度関心がある：55%

イ 全く関心がない、又はあまり関心がない：42%

(8) 以下の「ロ」大統領に期待される特質について好評価をするか。

ア 誠実さ：62%（前回（8月、以下同じ）59%）

イ リーダーシップ：51%（前回49%）

ウ 結果を出す能力：44%（前回37%）

## 2 ロソヤ元PEMEX総裁に対する予防拘束が発出

3日、連邦検察総局は、昨年7月にスペイン政府から墨政府に身柄を引き渡されて以降、墨連邦検察総局の汚職捜査における証人保護（監視）プログラム下におかれていた「ロ」元PEMEX総裁がメキシコ市内の高級レストランで食事している写真がSNS上で拡散されたことを受け、逃亡の虞があるとして予防拘束令を発出。同日、「ロ」元総裁は拘置所で身柄を拘束された。

## 3 大蔵公債省金融インテリジェンス・ユニット長官の交代

8日、自身の結婚式を巡るスキャンダルを受け、ニエト大蔵公債省金融インテリジェンス・ユニット長官が辞任。後任には、学生運動等の経験がある左派政治家のパブロ・ゴメス氏が就任。

## 4 連邦政府のインフラ事業への許認可付与の迅速化を命じる行政命令

22日、「ロ」大統領は、連邦政府が取り組んでいる通信、税関、水力、観光、医療、鉄道、エネルギー、港湾、空港等のインフラ事業を「公共の利益及び国家安全保障のためのプロジェクト」とする行政命令を発出し、関係省庁に対し、申請から5営業日以内にプロジェクト実施の暫定許認可を付与する体制を整えるよう命じた（注：5営業日以内に管轄当局か

らの回答がない場合、申請は承認されたものと見なされる。)。 「ロ」大統領は、各種インフラ事業を国家安全保障上・国家開発上の戦略的優先事項と捉え、遅延があってはならないと主張。

#### 5 次期墨中銀総裁人事の変更

23日、「ロ」大統領は、エレラ前大蔵公債相の次期中銀総裁への指名を取り下げ、ロドリゲス大蔵公債省歳出担当次官を新たに指名する旨発表した（注：12月3日、同次官は中銀副総裁に任命された。）。 明年1月1日に中銀総裁に就任する見込み。

#### 6 大統領支持率及び大統領信任投票に係る世論調査結果

26日、エル・ユニベルサル紙が、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。「ロ」大統領の支持率は68%で前回（8月）比6%増。不支持率は27%で前回比6%減。また、明年の大統領信任投票で信任票を投じるとの回答は76%、不信任票を投じるとの回答は22%であった（11月18～23日に、全国の有権者1,000名を対象に訪問（対面）調査形式で実施。誤差±3.53%。）。

### 【外交】

#### 1 気候変動に係る「ロ」大統領発バイデン米大統領宛書簡が公開

4日、気候変動対策に係る「ロ」大統領発「バ」大統領宛書簡が公開された。同書簡の主な内容は、「バ」政権の気候変動対策の取組を支持する旨、メキシコでは引き続き化石燃料を保全し、石油及びガスは国内消費のためにのみ採掘する旨、製油所及び太陽光発電所を新規に建設する旨、既存の水力発電所及び製油所を現代化している旨等。また、墨政府による「生命の種まき」プログラムの実施や、「グローバル・メタン・プレッジ」への参加が強調された。

#### 2 墨米陸路国境における不要不急な移動の制限解除

8日、墨米陸路国境における不要不急の移動制限措置が（米国政府が認めるワクチン接種証明書を保持する者について）解除された。米国で認可されるワクチンは、AstraZeneca、Covishield、Johnson&Johnson、Moderna、Pfizer、Sinopharm、及びSinovacの各社ワクチンで、渡米日の14日前以前に発行された接種証明書が有効となる。

#### 3 「ロ」大統領の国連安保理出席

9日、「ロ」大統領がニューヨークを訪問し、11月にメキシコが議長を務める国連安保理で議長として演説。1日2ドル以下で生活する世界の7億5千万人に尊厳ある生活を保障するため、年間1兆ドルの基金に資金を提供する「友愛及び福祉のための世界計画」を近く国連総会に提案すると発表した。また、同提案の財源は、世界で最も裕福な1,000人

の資産の4%、世界市場で際立った価値を持つ1,000社の民間企業から同等の額、及びG20各国のGDPの0.2%の毎年の任意拠出であり、世界の最貧層の人々に直接資金を提供することを想定とした(注:本件は12月7日、G20シェルパ会合でモレノ筆頭外務次官がG20諸国に提示した。)。なお、「ロ」大統領は、安保理出席前に在米メキシコ人移民に向けた演説を行い、墨政府による汚職対策、社会給付、雇用創出、経済回復に向けた取組等を強調。在米メキシコ人からの郷里送金に謝意を表した。

#### 4 墨EU政策協議の開催

9日、メキシコ市にて、第7回墨EU政策協議が開催。モレノ筆頭外務次官、モラ欧州対外活動庁事務局次長他が出席。現代化された墨EUグローバル協定に可能な限り早期の署名が行われるよう引き続き協働することが確認された。また、メキシコ及びEUにおけるパンデミック及びその経済的影響への対策等につき協議が行われ、引き続きパンデミックや気候変動等の地球規模課題に対処するための多国間主義への両地域のコミットメントが再確認された。

#### 5 米国主催新型コロナウイルス感染症対策に係る有志国会合

10日、ブリンケン米国務長官が主催した、新型コロナウイルス感染症対策等に関する有志国会合がオンラインで開催。メキシコからエブラル外相が参加した他、カナダ、フランス、インド等約20カ国の外相が参加した。新型コロナウイルス感染症対策に係る各国の取組が紹介され、より公平なワクチン分配の必要性、将来の保健衛生危機に備えたより良い国際保健体制の形成、保健分野における国際協力等につき意見交換が行われた。

#### 6 COP26の閉会

12日、英国グラスゴーで10月31日より開催されていたCOP26が閉会。メキシコは、米国及びEUが推進し、2030年までに世界の人為的メタン排出量を2020年比で30%削減することを目標とする「グローバル・メタン・プレッジ」への参加を表明。また、2030年までに森林の消失及び土地の劣化を食い止め、回復させるために協働するとの「森林と土地利用に関する宣言」にも加わった。同宣言への署名国は、パリ協定のコミットメント維持を約束。

#### 7 APEC首脳会議へのクルティエル経済相の参加

12日、「ク」経済相がAPEC首脳会議にオンライン出席。APECの優先課題と墨政府の貿易政策の3本の柱(革新、包摂及び多様化)との共通点を強調。会合後、パンデミックの影響に対処するために貿易及び投資が決定的に重要である旨を記載した「2021年APEC首脳宣言」が採択された。なお、9日には同会合に先立つ閣僚会議がオンライン形式で開催され、モレノ筆頭外務次官が出席。アジア太平洋自由貿易圏構想等につき協議が行

われた。

## 8 墨加外相会談の開催

16日、墨加外相会談がメキシコ市で開催。移民の構造的な原因、バリューチェーンの強靱性、先住民との和解、ジェンダー平等の促進、気候変動対策等につき協議され、18日の北米首脳会合に向けた準備が行われた。

## 9 北米サミットの開催

18日、米国ワシントンDCで第9回北米サミット（墨米加三カ国首脳会合）が行われ、「ロ」大統領他が出席。「ロ」大統領、バイデン大統領及びトルドー加首相は、保健、治安、経済、気候変動、移民、及びガバナンスに係る現在及び今後の取組を主な内容とする共同宣言及び行動計画を採択。また、「ロ」大統領は「バ」米大統領との会談で、USMCAを通じた北米の経済統合及び米州の経済統合に参加する旨述べ、1,100万人の移民の状況を正規化すべく同大統領が米国議会に提出した法案の提出を歓迎した。

## 10 「エ」外相の国連安保理出席

22日、「エ」外相が米国ニューヨークを訪問し、国連安保理において銃器密輸に係る公開討論を主催。銃器流通経路のモニタリング、国境における検問強化、及び民間銃器企業による自主規制を呼び掛け、銃器密輸対策に対する決議案を国連安保理に提出する考えを示した。

## 11 サウジアラビア外相の訪墨

29日、「エ」外相、ナレ・エネルギー相他が、訪墨したファルハーン・サウジアラビア外相（皇太子）他と会談。二国間貿易の促進、農業及び観光分野における協力の強化、両国における投資を希求する企業家の往来等がとり上げられ、「生命の種まき」「若者が未来をつくる」両プログラム、マヤ鉄道等の墨政府の取組が紹介された。

## 12 墨連邦政府、地方政府及び米企業家が墨南部における投資計画を協議

30日、ユカタン州メリダ市で、「エ」外相、墨南部諸州知事、サラサール駐墨米大使、米商工会議所代表者及び企業家らが会合。墨南部における開発及び経済成長のための投資計画（2022～24年の間に250億ドルの投資を達成することが目標）の進捗につき協議した。

（了）